

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	インフルエンザ予防接種費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	17,882	19,606		19,049			19,049	1,167
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	17,882	19,606		19,049			19,049

事業概要	インフルエンザの予防接種が高齢者の発病防止や特に重症化防止に有効であることから、65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある人を対象に、インフルエンザ予防接種を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	インフルエンザの予防接種を促進することにより、高齢者の発病防止や特に重症化を防止し、高齢者の健康の保持を図る。		
現状と背景	平成20年度においては対象者9,266人中、接種者6,091人、接種率は65.7%であり、接種率は近年、上昇傾向にある。平成21年度は、新型インフルエンザワクチン生産により季節性インフルエンザワクチンの供給量が少なかったこともあり、受診率は60.7%であった。	その他	平成22年度 自己負担額 市民税課税世帯 1,000円 市民税非課税・生活保護世帯 無料 委託料 3,600円

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	結核予防費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	729	728		688			688	▲ 41
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	729	728		688			688

事業概要	40才以上の市民を対象とし、胸部レントゲン撮影による集団検診を行うことで、結核の早期発見に努める。	今年度見直し事項	
事業目的	新しい結核患者発生を未然に防ぎ、結核の早期発見・早期治療につなげる。		
現状と背景	結核の患者数は近年減少傾向にあるが、県内でも結核の罹患は毎年あり、特に高齢者が多いのが現状である。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	環境防災課
事業名	狂犬病予防事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	174	149		149			149	▲ 25
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	174	149		149		149	▲ 25
	一般財源	0	0		0		0	0

事業概要	狂犬病予防法に基づき、毎年4、5月に狂犬病予防集団注射を公民館等で実施。新規登録、死亡、登録事項の変更、鑑札・注射済票の発行、再発行手続きは随時行っている。	今年度見直し事項	
事業目的	狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上を図る。		
現状と背景	近年、室内犬が増加しており、飼い主の認識不足等で予防注射をしない犬が増加傾向。接種率の向上に努める。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	BCG接種事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,162	1,284		1,284			1,284	122
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,162	1,284		1,284			1,284

事業概要	子どもの結核を予防することで、子どもの健康の保持増進を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	BCG接種は肺結核を防ぐ効果があり、重篤な結核症である乳幼児期の髄膜炎や粟粒結核に対して高い有効性が認められている。特に乳幼児が結核に感染するとこのような重症の結核になり易いので、BCG接種を受けることが大切となる。		
現状と背景	結核の患者数、死亡者数は、近年、急速に減少してきたが、依然国際的には日本は他の先進国に比べ罹患率は高い状況にある。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	予防接種費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	35,392	35,727		35,798			35,798	406
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	35,392	35,727		35,798			35,798

事業概要	子どもの感染症を予防することで、子どもの健康の保持増進を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	予防接種は体の中に免疫抗体を作り、感染症予防、発病予防に高い有効性が認められている。特に定期の予防接種は、感染すると重症化、蔓延化しやすい疾患の予防のためであり、予防接種を行うことにより乳幼児の健全な成長発達を図る。		
現状と背景	定期予防接種により感染症の患者数、死亡者数は減少してきたが、近年麻疹の発生予防に十分な抗体を有していない年代に麻疹の流行が起きた。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	小児インフルエンザ予防接種助成事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,493	2,431		2,431			2,431	▲ 62
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	2,493	2,431		2,431			2,431

事業概要	就学前の子どもの保護者に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成し、罹患と重症化を予防する。	今年度見直し事項	
事業目的	新型インフルエンザの流行が危惧される今日、感染力も強く、重症化しやすい疾患を予防するための注射を、より接種しやすい環境をつくることで、子どもの健康管理の強化を図る。		
現状と背景	任意接種のため、接種率の把握は出来ていないが、高率ではないことが伺える。集団でのインフルエンザも発生している。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	新型インフルエンザ対策事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	252	252		252			252	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	252	252		252			252

事業概要	今後に想定される新型インフルエンザの流行の継続や、新たなインフルエンザの発生の際に、市役所業務を継続するために、職員の感染防止を目的としたマスクや手指消毒剤の備蓄を行う。また、汚染物の処理や感染疑いのある者に面接するなど、濃厚感染の可能性が高い業務に従事する職員の感染予防に必要な防護具・衛生資材等を準備し、感染拡大の防止を図る。	今年度見直し事項
事業目的	1. 新型インフルエンザの感染拡大防止 2. 新型インフルエンザのまん延時での、必要な市役所業務の継続	
現状と背景	平成21年4月に発生した新型インフルエンザは、現在はフェーズ6(効率よくヒトからヒトへの感染が起こっている状態)となっているが、疾患自体は季節性インフルエンザとほぼ同等と見られている。しかし、今後新たに起こりうる新型インフルエンザに対応するための資材は発生してからでは入手困難となるため、備蓄しておく必要がある。	その他

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	予防接種費助成事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	64	128		128			128	64
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	64	128		128			128

事業概要	里帰り等により、市と予防接種の委託契約を締結している医療機関以外の医療機関で予防接種を受けた者に対して、その費用を助成する	今年度見直し事項	
事業目的	里帰り等のために、委託契約を締結していない医療機関において予防接種を受けたときに支払う費用について助成を行うことで、住民の健康管理とサービスの公平化を図る		
現状と背景	境港市に住所を有したまま、出産などで長期間自宅を離れる場合は、境港市が予防接種業務を委託契約している医療機関で実施できないので、公費負担の対象とならないため自費で接種をしている	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	小児インフルエンザ予防接種助成事業事務費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	155	144		144			144	▲ 11
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	155	144		144		144	▲ 11

事業概要	小児インフルエンザ予防接種助成事業を実施するための事務費	今年度見直し事項	
事業目的	小児インフルエンザ予防接種助成事業を実施するための事務費		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	Hibワクチン、小児肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	9,555	5,955	27,861			27,861	27,861
財源内訳	国							0
	県	0	4,768	2,977	12,543		12,543	12,543
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	4,787	2,978	15,318			15,318

事業概要	生後2か月から5歳未満の子どものHib・小児肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を助成する	今年度見直し事項	
事業目的	Hib・小児肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を助成し、接種を促し感染および重症化防止を図る		
現状と背景	細菌性髄膜炎の原因でもっとも多いのは、インフルエンザ菌b型(Hib)次いで肺炎球菌である。国内の患者の多くは5歳までの乳幼児、死亡率は5%前後、1~2割に重い後遺症がみられる。この2種類のワクチンを接種することで細菌性髄膜炎の8~9割を予防できるため予防効果は高い。しかし、接種費用・回数ともに多く、保護者の負担が大きい。本事業を導入することで接種を促し感染および重症化防止を図り、医療費削減へとつなげる。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	子宮頸がんワクチン接種費用助成事業
補助単独の別	有り(国 1/2 市 1/2)

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	16,898	17,414	30,819			30,819	30,819
財源内訳	国							0
	県	0	8,400	8,700	13,879		13,879	13,879
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	8,498	8,714	16,940			16,940

事業概要	子宮頸がんの予防に有効なワクチン接種に係る費用を助成するとともに、ワクチンの特性や将来の子宮がん検診の重要性について啓発するための健康教育を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	子宮頸がん予防ワクチンに対する理解を深め、ワクチンを接種しやすい環境を整えることで接種率を高め、子どもたち(女子中学生)が将来子宮頸がんに罹患する可能性を可能な限り排除する。		
現状と背景	全国的に子宮頸がんに罹患する者の低年齢化が問題となっている。子宮頸がんはワクチン接種で予防できる唯一のがんであるが、接種費用は1回約16,000円で、3回接種しなければならず、半年間に約50,000円と大きな負担が生じる。また、性交経験のない時期(中学生)の接種が望ましいことから、子育て中の家庭にとっての経済的負担は重く、家庭の経済状態で将来子宮頸がんに罹患するリスクが左右されることが考える。	その他	